

千数百年の昔、唐の国からやってきた雅楽。
宮廷人たちが聴いていた雅楽は、はるか時を超え、
現代の楽人たちによって新しい時代を迎える。

悠久の響き

知られざる雅楽の世界

芝祐靖(龍笛)^{りゅうてい}・宮田まゆみ(笙)^{しょう}・八百谷啓(箏)^{ひゃくたけ}・筆策独奏

プログラム

第1部 古典雅楽

雅楽古典曲 平調調子 三管合奏

雅楽古典曲 越天楽 三管合奏

お話し「雅楽のあらまし」

雅楽古典曲 林歌 三管合奏

お話し「楽器解説」 岩笛、排簫、メイ、大箏、箏などの古代楽器も含めて

雅楽古典曲 陪臚 三管合奏

第2部 現代雅楽

お話し「現代雅楽のあゆみ」「秋庭歌」(武満徹作曲より) 三管合奏

芝祐靖 白瑠璃の碗 龍笛独奏

一柳慧 星の輪 笙独奏

武満徹 「秋庭歌」より 塩梅 箏独奏

石井真木 飛天生動 三管合奏

1998年9月13日(日) 14時開演

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール小ホール

●主催 財団法人びわ湖ホール ●入場料 一般4000円 / 学生席2500円(いずれも全席指定)

●6歳未満のお子様はご入場になれません

●チケット取り扱い びわ湖ホール 077-5233-7136

●チケットぴあ 06-6363-9999 ●チケットセゾン 06-2322-9090

前売り開始 6月27日(土) 10時 / 友の会優先発売開始 6月24日(水) 10時

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号



悠久の響き

知られざる雅楽の世界

千数百年の昔、唐の国からやってきた雅楽。

宮廷人たちが聴いていた雅楽は、はるか時を超え、現代の楽人たちによって新しい時代を迎える。

今から千年以上も前の、中国は唐の時代、日本からはたくさんの方遣唐使が大陸へ渡り、いろいろな文化を日本に持ち帰りました。そのひとつに、唐の宮廷で儀式の際に演奏されていた音楽から派生し、儒教的な思想を離れて、饗宴の場などで芸能として楽しまれていた俗楽があり、それが日本に伝えられて、雅楽として形づくられ、その伝統は今日まで受け継がれています。

このコンサートでは、そういった雅楽の楽器の中で、「吹き物」と呼ばれる3つの管楽器が織りなす雅楽の世界にお誘いしましょう。3つの管楽器とは、篳篥（ひちりき）、龍笛（りゅうてき）、笙（しょう）です。長い音をしながら吹くような吹き方が特徴の「篳篥」、対照的に音の動きが細かく装飾的な「龍笛」、そして、そこにいくつもの音が重なった響きで彩りを添える「笙」。これらがひとつになって雅楽の雅びな美しさを作り出します。

これまで、皇室や神仏の儀式の場で演奏され、日常の生活からは少し遠い存在だった雅楽ですが、現在は、今回演奏する3人の演奏家たちを中心として、柔軟な演奏活動が展開されています。また、西洋の音楽とも積極的な交流を計るなど、身近に楽しめる音楽となりました。とくに、笙の宮田まゆみさんは、儀式音楽としての雅楽には存在し得なかった女性の演奏家として国際的に活動し、雅楽を広く世界に紹介しています。

第1部では、大陸から渡って今に残る古典曲、第2部では、今世紀になって日本を代表する作家たちによって作られた現代曲が演奏されます。雅楽とはどういったものか、雅楽は現代にどのように生きているか、そして雅楽の楽器についてなど、演奏家によるわかりやすい解説も加えていただくことになりました。演奏とお話をとおして、千数百年もの歴史を経た雅楽の伝統と未来を、より身近に感じていただけることでしょう。

芝祐靖——龍笛

（しはすけやす／りゅうてき）
Sukeyasu Shiba, Ryuteiki

東京生まれ。奈良系の伶人の家に生まれたため、宮内庁楽部楽生科に入。学。古代歌謡、横笛、左舞、琵琶などを修め、1957年同庁楽士（総理府技官）拝命。主に横笛演奏で活動した。1984年宮内庁を退官し、横笛演奏を中心とした活動始める。古典雅楽のほか、現代雅楽、現代邦楽の作曲および演奏を行ない、また、国立劇場の正倉院収蔵楽器復元に参加し、敦煌琵琶譜などを再現。皇太子殿下御成婚祝典序曲、天皇陛下御結婚30年奉祝音楽、昭和天皇のための音楽も多く作曲している。1985年より、パリの秋音楽祭、ベルギー音楽祭、ドナウエーゲン現代音楽祭、リンカン・フェスティバル'96などで演奏。古典楽器、現代雅楽を国内外に紹介する。1987年、芸術選奨文部大臣賞（古典芸術部門）受賞。1997年、モビル音楽賞、邦楽部門受賞。現在、国立音楽大学客員教授、東京芸術大学非常勤講師、伶楽舎音楽監督。

宮田まゆみ——笙

（みやたまゆみ／しょう）
Mayumi Miyata, Syo

国立音楽大学ピアノ科を卒業後、雅楽を学ぶ。1979年より国立劇場の雅楽公演に出演、1983年より笙のリサイタルを行って注目を集め、第3回リサイタルで芸術選奨文部大臣新人賞を受賞。1987年のヨーロッパをはじめパリ、アムステルダム、シカゴ、ミノーなど欧米諸都市でリサイタルを開催。パリの秋音楽祭、ダルク・ユタート現代音楽夏期講習会に招かれている。また、国内外の現代音楽作曲家の新作を数多く初演。1992年にジョン・ケージの笙と打楽器のための作品を全曲演奏。同年、小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラとの武満徹「セロニアル」の世界初演。1996年、ケルンで細川俊夫の「うつろいなき」（ケルン放送交響楽団）を演奏。1998年、長野オリンピック開会式での演奏によって、さらに国際的な注目を集めている。1987年、エリオン女性年度賞、芸術賞受賞。1993年中島健蔵賞受賞。

八百谷啓——篳篥

（やおに／さとる／ひちりき）
Satou Yotani, Hichiriki

東京生まれ。篳篥を東儀博士（元宮内庁楽部楽長）に師事。篳篥の演奏を行なうかわら、メイトル・コッパ、バーン・イランといった同僚のリード楽器の研究。演奏も手懸ける。1980年より国立劇場の雅楽、声明公演に出演。1986年にはイタリアのトリノ市国際芸術祭、そしてパリの秋音楽祭に参加して演奏。1988年、シアター・プラットホーム「羅生門」、オランダで行われた「ザ・ランド・オブ・アジア」の「羅生門」（石井真木作曲）公演に参加。1990年東京国際交響楽団（TOME）の員として、アメリカ、ヨーロッパの各地で演奏した。また、伶楽舎の二員としても活動している。



【びわ湖ホール友の会】会員募集中!

チケットの優先購入、情報誌、公演チケット情報の定期送付など、特典をいっぱいご用意しました。●年会費=2312円（DCカード年会費を含む）●入会資格=18歳以上で安定継続収入のある方。または18歳以上の学生の方（高校生を除く）●お問い合わせ・お申し込み=財団法人びわ湖ホール事業部広報営業課 TEL.077-523-7137

オープニング 不思議の国のタブラトゥーラ

古いけれど新しい。どこか懐かしいけれど、ほかのどれとも似ていない。さあ、タブラトゥーラといっしょに不思議の国に遊びに行こう! ●1998年9月19日(土) 15:00開演 ●入場料=一般4000円/学生席2500円(いずれも全席指定) ●前売り開始 6月27日(土)/友の会優先発売開始 6月24日(水)

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号

●交通のご案内

- 大阪から39分、名古屋から60分 (JR利用・大津駅着)
- JR琵琶湖線「大津」駅、「膳所」駅より徒歩約15分
- 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分
- 名神高速大津ICより約5分 (びわ湖ホール駐車場854台・有料)

